

生物農薬
パチルス アミロリクエファシエンス水和剤

インプレッションクリア

農林水産省登録 第23473号
((株)エス・ディー・エス バイオテック登録)
性状：類白色水和性粉末
毒性：普通物 (毒物及び劇物に該当しないものを指すという通称)
危険物：非該当
有効年限：3年
包装：100g×40, 500g×10

殺菌剤分類 **BM2**

有効成分：パチルス アミロリクエファシエンスAT-332株の生芽胞・・・5×10⁹CFU/g

インプレッションクリアは(株)エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

- 特長**
○うどんこ病、灰色かび病に対して高い防除（予防）効果を発揮します。
○汚れが少なく、収穫期にも安心して使えます。
○幅広い作物で使えます。
○多くの化学農薬と混用可能です。
○薬剤抵抗性発達の可能性が低く、様々な薬剤、受粉蜂、天敵等と併用可能です。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	パチルスアミロリクエファシエンスを 含む農薬の 総使用回数
もも ネクタリン おうとう	灰星病	1000～ 2000倍	200～ 700ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—
うめ ぶどう	灰色かび病	1000倍	200～ 700ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—
野菜類	うどんこ病 灰色かび病	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—
にら にら（花茎）	白斑葉枯病	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—
トマト ミニトマト	すすかび病 葉かび病	1000倍	100～ 300ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—
なす	すすかび病	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—
ピーマン ししとう 甘長とうがらし ハバネロ	黒枯病	1000倍	100～ 300ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—
しょうが 葉しょうが	白星病	1000倍	100～ 300ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—
しそ	斑点病	1000倍	100～ 300ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—
食用ゆり	葉枯病	1000倍	100～ 300ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—
きく	白さび病	1000倍	100～ 300ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	パチルスミロリクエファシエンスを 含む農薬の 総使用回数
ばら	うどんこ病	1000倍	100～ 300ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—
ホップ	うどんこ病 灰色かび病	1000倍	200～ 700ℓ	発病前～ 発病初期	—	散布	—
たばこ	うどんこ病	500～ 1000倍	100～ 180ℓ	収穫3日前 まで	2回以内	散布	2回以内

使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌であるので、散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使いきってください。
- 本剤の所定量に少量の水を加えてかき混ぜ、その後所定量となるよう水を加え十分攪拌してから散布してください。
- 本剤は吸湿すると固化したり、効果が低下したりすることがあるので、貯蔵に当っては湿気に注意し、特に使用残りの薬剤は密封して乾燥した冷暗所に貯蔵してください。
- 本剤は保護作用が強く予防効果が主体なので、発病前から発病初期に7～10日間隔で数回散布してください。
- おうとうに使用する場合は、着色期以降の散布は果実に汚れを生じるおそれがあるので注意してください。
- みずいも、みずかけな（水掛菜）、せり、クレソン、くわい、じゅんさい、ひし、まこもたけ、れんこん及びわさびに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください（刺激性）。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。

保管に関する注意事項

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。